

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	571 グリーンツーリズム推進事業	会計	01	一般会計
		款	06	農林業費
		項	01	農業費
基本施策	42 持続的で個性的な農林業を実践する	目	03	農業振興費
		細目	301	グリーンツーリズム推進事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	地域連携システム整備事業
担当部署	コード 191200 名称 産業建設部農林振興課	担当者氏名	小林 康志	連絡先 43 - 2302 (内線) 335

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	農村集落(特に過疎化高齢化の顕著な)	※対象件数
成果(どうする)	農村の活性化・集落機能の維持 ・農村景観の向上、・地域特産物の生産販売増加 ・交流人口が増加し地域産業(農業、商業、観光業)が活性化する。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H22 事業内容	小・中学校と連携し農作業に触れる機会や周辺の空き地や農地に草花などを植え、農村景観を美化し地域の魅力を向上させる。 小・中学校や大学生と連携し、地域の食材や特産品を使った農村活性化事業について学集会を開催する。 大学等と連携し、大学生を農村地域に呼び込んでグリーンツーリズムの推進や集落の将来計画を住民と共に作成する。 地域住民を対象に、地元の食材や農村景観を行かした交流活動や地域活性化についての講演会・講習会を実施する。 伊賀鉄道の沿線の農地や空き地を菜の花やコスモス等を栽培することで景観を向上させる。	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
交流会等の開催		回	目標	5	5	5
			実績	6		
販売イベント等の開催		回	目標	3	3	4
			実績	3		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
都市農村交流会等の参加人数	交流人口の延べ実数		人	目標	400	500	600
				実績	500		
販売イベント等の参加人数	交流人口の延べ推定値		人	目標	400	500	600
				実績	500		

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの財源内訳	国庫支出金		149	500	500
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	0	149	500	500
	事業投入人件費(B)	0	720	720	720
	フルコスト(A)+(B)	0	869	1,220	1,220

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
有効性	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは地域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
達成度	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
効率性	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高いサービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無	無
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
改善策	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	服部 智秀	
事業の方向性	【方向性】	現状維持
	【理由】	
現時点における課題、その他	伊賀市の農村集落は、過疎化や高齢化で、活力が低下し、集落機能の維持が問題になりつつあるが、交流人口を増加することで地域の活性化を目指すため今後も実施する必要がある。	
課題、その他に対する改善策	本年度中に、小中学校や都市部の大学等との連携成果をまとめて公表する。 伊賀鉄道沿線の美化活動を伊賀神戸～猪田道までの沿線で取り組む。	
(いつまでに、何を、どうする)		